

# 授業改善プラン

地域名	葛南教育事務所	学校名	八千代市立村上東中学校
-----	---------	-----	-------------

## 1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 本校生徒の課題は、数学Aの「数と式」「関数」に見られる。  
「数と式」では数字を文字に置き換えて考える利点や良さの理解が不十分。また、文字を使って数量を式に表すことが苦手である。

## 2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 日常の事象や既習の学習内容と関連付けられるように工夫する。
- 毎時の授業の終末場面で、本日の学習を振り返る活動を継続的に行う。

## 3. 具体的な実践

- 文字式や計算法則の意味を日常や既習の計算と関連付ける。（第2学年）  
生徒は式の意味を基にしながら、数や文字の計算を正しく処理する力を高めることができる。
- 式・表・グラフを既習と関連付け各表現の意味を理解できる。（第3学年）  
生徒は各表現の意味を基にしながら、式、表、グラフを関連付けて情報を読み取る力を高める。
- 授業の終末場面で「まとめ」を書く時間を確保する。（第1学年）  
生徒は理解を深めたり自らの学習を調整したりし、数学的な見方や考え方を高めることができる。

## 4. 成果

- 生徒が見通しをもち、既習の学習内容と関連付けたことによって、数や文字の計算を正しく処理する力が付き、自力解決や比較検討の場面で主体的に学習へ取り組むようになった。
- 式・表・グラフを既習と関連付け、各表現の意味を理解できるようにしたことで、いろいろな視点での情報を読み取る力が身に付いた。
- 授業の終末場面で「まとめ」を書く時間を確保したことで、数学的な考え方を取り入れたまとめが書けるようになり、生徒に自分の言葉で表現する力が身に付いた。

### ◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 川口 斉之）

- 日常にある数学的素材を取り上げることで、子供の学ぶ意欲を高め、主体的な学びへと導くことができた。また、日常と数学を結び付けるだけでなく、数学で学習したことを関連付けながら理解を深める活動を充実させたことで、生徒が多角的な視点で物事を考えられるようになった。